

ジョン・レノンを撃った男 (2006)

THE KILLING OF JOHN LENNON

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス

時間 115分

【解説】

1980年12月8日に起こったジョン・レノン殺害事件。犯人のマーク・デイヴィッド・チャップマンは、なぜ時代のカリスマを手につかなくしてはいけなかったのか。ハワイですら逃げ込めずにいた彼は、図書館で一冊の本「ライ麦畑で捕まえて」と出会い、その本の主人公ホールデン・コールフィールドに自分を重ね合わせていた。そしてそのころから、彼はジョン・レノンが偽者に成り下がったと思うようになり…。チャップマンの怒りを、観客は理解できるだろうか？

【クレジット】

監督 アンドリュー・ピディングトン Andrew Piddington

製作 ラクハ・シング

脚本 アンドリュー・ピディングトン Andrew Piddington

撮影 ロジャー・イートン

出演 ジョナス・ボール Jonas Ball マーク・チャップマン

クリシャ・フェアチャイルド Krisha Fairchild

グンター・スターン Gunter Stern

ゲイル・ケイ・ベル Gail Kay Bell

ミエ・オオモリ Mie Omori

ロバート・C・カーク Robert C. Kirk

リチャード・シャーマン Richard Sherman